

平成24年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年11月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,226億円余
2. 前年同月比	-1.5% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.6%(90.3%) : 非店頭-0.8%(9.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	921,980㎡ (前年同月比:0.7%)
6. 総従業員数	18,930人 (前年同月比:-0.5%)
7. 3か月移動平均値	3-5月 11.3%、4-6月 2.8%、5-7月 0.2%、 6-8月 -0.4%、7-9月 -0.2%、8-10月 -0.3%

[参考] 平成23年10月の売上高増減率は-1.9% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

- (1) 10月の都内各店の入店客数は、休日減の影響から、増床・改装店舗を除くと概ね4%~5%減という結果であった。
- (2) 東京地区では食料品が前年実績をクリアした。この背景には、一部店舗における改装効果のほかに、各店で積極展開された地方物産展や外国展の効果がある。
- (3) 月の後半から気温低下で秋冬商材が活発に動き出している。具体的には、コート、ジャケット、セーター、ブーツなどが大きな伸びを見せている。
- (4) 美術・宝飾・貴金属は2か月ぶりに-3.0%と前年を下回った。これは一部店舗で前年大口需要の反動があったことや計上のズレが影響しており、実質的には売約、計上ともに堅調であった。
- (5) 11月中旬までの商況は、大型店を中心に+5%を上回る推移を示している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比+0.5日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:2店、②変化なし:2店、③減少した:15店
- (3) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上(同上/有効回答数15店舗)
①増加した:2店、②変化なし:8店、③減少した:5店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
①増加する:3店、②変化なし:12店、③減少する:4店、④不明:1店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年10月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	122,648,151	100.0	-1.5 (-2.2)
紳士服・洋品	12,223,762	10.0	-2.6
婦人服・洋品	28,263,858	23.0	-1.8 (-2.3)
子供服・洋品	2,340,288	1.9	-3.1
その他衣料品	2,750,508	2.2	-1.3
衣 料 品	45,578,416	37.2	-2.0 (-2.4)
身のまわり品	16,559,215	13.5	-1.3 (-4.0)
化粧品	6,619,764	5.4	2.8
美術・宝飾・貴金属	6,277,439	5.1	-3.0
その他雑貨	5,802,618	4.7	-10.7
雑 貨	18,699,821	15.2	-3.7
家 具	1,718,589	1.4	-1.8
家 電	929,100	0.8	18.4
その他家庭用品	4,092,192	3.3	-2.3 (-3.4)
家 庭 用 品	6,739,881	5.5	0.2 (-0.5)
生 鮮 食 品	4,627,316	3.8	0.4
菓 子	7,042,215	5.7	2.5
惣 菜	7,098,179	5.8	2.7
その他食料品	8,364,176	6.8	0.0 (-0.9)
食 料 品	27,131,886	22.1	1.4 (1.1)
食 堂 喫 茶	3,041,855	2.5	-2.5 (-3.5)
サ ー ビ ス	2,369,878	1.9	2.6
そ の 他	2,527,199	2.1	-12.5 (-15.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	2,721,422 千円	-17.9 (-18.1)
従 業 員 数	18,930 人	-0.5
店 舗 面 積	921,980 m ²	0.7

営 業 日 数	31.0 日	前年	30.5 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が2か月連続、食料品が3か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨。化粧品、生鮮食品が3か月連続、菓子が9か月連続、惣菜が15か月連続のプラス、家電が2か月ぶりのプラス、その他食料品が前年並み(+0.0%・5か月ぶりプラス)となった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.5	—	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-2.6	-0.3	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-1.8	-0.4	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	-1.3	0.0	4か月ぶりマイナス
衣料品	-2.0	-0.8	2か月連続マイナス
身のまわり品	-1.3	-0.2	8か月ぶりマイナス
化粧品	2.8	0.1	3か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-3.0	-0.2	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-10.7	-0.6	6か月連続マイナス*
雑貨	-3.7	-0.6	2か月ぶりマイナス
家具	-1.8	0.0	2か月ぶりマイナス
家電	18.4	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-2.3	-0.1	6か月連続マイナス
家庭用品	0.2	0.0	2か月連続プラス
生鮮食品	0.4	0.0	3か月連続プラス*
菓子	2.5	0.1	9か月連続プラス*
惣菜	2.7	0.2	15か月連続プラス*
その他食料品	0.0	0.0	5か月ぶりプラス*
食料品	1.4	0.3	3か月連続プラス
食堂喫茶	-2.5	-0.1	5か月連続マイナス
サービス	2.6	0.0	5か月連続プラス
その他	-12.5	-0.3	6か月連続マイナス
商品券	-17.9	-0.5	18か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>